

2014/4/25 (Fri.) 第86号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 発行所
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

横倉日医連委員長 安倍総理に面談

今後の社会保障政策について意見交換

四月二日、横倉義武日医連委員長は総理大臣官邸を訪れ、安倍晋三内閣総理大臣と面談した。

横倉委員長は安倍総理に今後の日本の社会保障政策について意見進言した。そのなかで、「二〇二五年、二〇五〇年を見据えたわが国の社会保障」、「選択療養制度の創設に対する懸念」、「国



左から今村聡副委員長、横倉義武委員長、安倍晋三内閣総理大臣、中川俊男副委員長、松原謙二副委員長 (総理大臣官邸にて 4月2日)

家戦略特区における医学部新設の問題点」、「不正論文の指導等を行う機関の設置」等を説明。「医療分野での過度の規制緩和は、さらなる医療崩壊につながる」と総理の理解を求めた。

この面談には、中川俊男日医連副委員長、今村聡同副委員長、松原謙二同副委員長も同席した。

国民医療懇談会 議員一覧

平成26年4月15日現在 (別表)

衆議院議員 (五十音順 敬称略)

氏名	役職	選挙区
かつのぶ 加藤 勝信	内閣官房副長官 国民医療を守る議員の会 事務局長	岡山5区 (当4回)
ようこ 上川 陽子	総務副大臣 国民医療を守る議員の会 会長代理	静岡1区 (当4回)
いちろう 鴨下 一郎	自民党税制調査会副会長 国民医療を守る議員の会 会長代行	東京13区 (当7回)
まさひこ 高村 正彦	自民党副総裁 国民医療を守る議員の会 会長	山口1区 (当11回)
いっしゅう 菅原 一秀	自民党財務金融部会長 国民医療を守る議員の会 幹事長代行	東京9区 (当4回)
たかし 山下 貴司	厚生労働委員会委員 国民医療を守る議員の会 事務局次長	岡山2区 (当1回)

参議院議員 (五十音順 敬称略)

氏名	役職	選挙区
けいぞう 武見 敬三	厚生労働委員会委員 国民医療を守る議員の会 幹事長	東京 (当4回)
たかし 羽生田 俊	厚生労働委員会委員 国民医療を守る議員の会 幹事	比例代表 (当1回)
たかまる 福岡 資麿	内閣府兼復興大臣政務官 国民医療を守る議員の会 事務局次長	佐賀 (当1回・衆1回)



国民医療懇談会 (3月18日)

三月十八日、第一回「国民医療懇談会」が開催された。

この懇談会は昨年十一月に発足した「国民医療を守る議員の会」(会長 高村正彦自民党副総裁)の幹部と日医連役員との意見交換会として発足したものである(参加議員は別表参照)。

第一回の意見交換では、国家戦略特区における医療分野での主な論点として挙げられた「国際医療拠点における外国人医師の診察・外国人看護師の業務解

禁、「病床規制の特例による病床の新設・増床」「保険外併用療養の拡大」「医学部新設に関する検討」について日医連(日医)の考え方を説明し、意見交換を行った。

四月十五日に開催された第二回の国民医療懇談会では、「医療法一括法案」と「保険外併用療養の選択療養制度(仮称)」について意見が交わされた。

今後は月一回のペースで開催し、喫緊の医療政策課題や中長期的な社会保障制度のあり方等山積する諸課題について、活発な意見交換を行っていくことを確認し終了した。

日医連、「国民医療を守る議員の会(自民党議員連盟)」幹部との意見交換会の定例開催を確認

「国民医療懇談会」を開催

平成25年度 第2回 「日医連医政活動研究会」 ブロック別研究会

2月25日号で平成25年度のブロック別研究会の様態をお伝えしましたが、今号では、引き続き北海道、東北、東京、関東甲信越、中部の各ブロック研究会についてお伝えします。

ブロック別に開催された研究会には、全国で合わせて約1,100名の若手医師連盟会員が参加した。研究会では、日医連役員から、医政活動の重要性や日常の政治活動（陳情活動）、今後の医療政策の課題などについて解説があり、多くの若手医師連盟会員が医政活動への取り組みを、再認識するきっかけとなる有意義な研究会となった。

三月二十二日 北海道ブロック

(当番県)

北海道医師連盟



「日医連医政活動研究会」(北海道ブロック)

百四十名の参加者があり、札幌会場のほか、函館と北見においてテレビ会議システムを使用して中継が行われ遠隔地の会員に便宜がはかられた。

司会は井門明日日医連医政活動研究会北海道ブロック幹事長と平山繁樹同副幹事長が務め、横倉義武日医連委員長、羽生田俊参議院議員のほか、医師である勝沼栄明衆議院議員(比例北海道ブロック・自民党)も出席した。

北海道ブロック日医連医政活動研究会が三月二十二日、札幌市内で開催された。当日は、約委員長のよう挨拶した。

「医療については多くの課題があり、とくに医療機関の控除対象外消費税問題、有床診療所の活性化など喫緊の課題も多い。本日は横倉日医連委員長と羽生田参議院議員から講演をいただく。そののちの意見交換では、活発な意見交換を行っていただき、本研究会が先生方にとり実り多い会となるようお願いしたい(要旨)」。

また、横倉委員長からは、「本研究会は三年前に、政治的な活動についてさまざまな取り組みを行うことを目的として発足した研究会である。高齢社会を迎え、これから先、子や孫の時代の社会保障をどうするべきか、その方向性を示していくことは、我々医師連盟(医師会)に課せられた大きな課題だと考えている(要旨)」と挨拶があった。そののち、講演の部に移り、横倉日医連委員長が、「医政活動の意義」と題して、昨年末の診療報酬改定における、日医連の陳情活動の状況を中心に、医政活動の実践について講演を行った。



質問する参加者

三月八日 東北ブロック

(当番県)

秋田県医師連盟



「日医連医政活動研究会」(東北ブロック)

引き続き羽生田参議院議員から「今後の医療政策(医療税制と医政活動)」と題して、医療に關係する税制、とくに医療機関における控除対象外消費税問題の解決策について具体例を挙げながら説明が行われた。

意見交換では、「TPP問題」、「国の財政と医療費について」、「消費税一〇パーセント時における控除対象外消費税問題の解決策」について、横倉日医連委員長、羽生田参議院議員らと参加者との間で、引き続き熱い議論が行われた。研究会は閉会となった。

三月八日、東北ブロック・平成二十五年・第二回日医連医政活動研究会が秋田市内にて開催された。秋田県医師連盟が主体となり他五県の協力のもと、各県の研究会メンバーと地区医師連盟役員等が多数参加した。

当日は、伊藤伸一秋田県医師連盟執行委員と曾根純之秋田県医師連盟執行委員が司会を務め、当番県である小山田雅秋田

守るということを、国会議員、首長や地方議員の先生方にさらなる理解を求めていく必要がある(要旨)」と挨拶があった。

そののち、東北ブロック六県から、医政活動および昨年の参議院選挙等について活動報告がされ、活発な意見交換が行われた。

各県メンバーからは、「地元国会議員や県議会議員等と懇談会等を開催し、国民皆保険制度の堅持、医学部新設反対、消費税増税対策等の議論展開」「衆参議員選挙における推薦決定や選挙応援等」「国会議員や地方議員等との信頼関係構築」等の報告がされた。意見交換の場では、「今後の医政活動のあり方」「選挙の具体的な方法」について熱い議論が交わされた。

研究会閉会後の懇親会では、次期ブロック担当である高谷雄三福島県医師連盟委員長の乾杯により懇親会が始まったが、予定時間を大幅に超過するほどの熱の入った懇親会となった。

三月二十日 東京ブロック

(当番県)

東京都医師政治連盟

「日医連医政活動研究会(東京ブロック)」が三月二十日、東京都医師会館で百五十名ほどが出席し開催された。

司会進行は、橋本雄幸東京都医師政治連盟役員が行い、まず、横倉義武日医連委員長が挨拶に立ち「昨年七月の参議院選挙では全国比例区で羽生田俊議員、東京選挙区では武見敏三議員に多大のご支援を賜り、当選させていたいただき、厚く御礼申し上げます。

また、本年四月からの診療報酬改定では、当初から財政局、官邸筋では、国民にさらなる負担をかけることはできないとの理由で、マイナス五割の大幅な引き下げの方針を崩しませんでした。これを、先生方の強い支援およびご努力により改定率を全体としてプラス〇・一%まで引き戻すことができました。このように、国民皆保険の堅持あるいは診療報酬の「



「日医連医政活動研究会」(東北ブロック)



「日医連医政活動研究会」(東京ブロック)

く改定では、政治の力が大きく作用し必要であり、先生方から、都の地域医療計画を構築し

援護が必要不可欠であります。本日ご出席の先生方により、東京都の会員を一つにまとめていただくようお願い申し上げます」と述べた。引き続き、尾崎治夫東京都医師政治連盟副委員長が挨拶し「いよいよ医療介護の一体改革が二〇二五年を目指し、地域の包括ケアを固めていくこととなる。それには都道府県医師会の責任と力が必要であり、都議会議員

り、日医連においても同様の傾向があり、日医連の組織強化に努めているところである。日医連活動のなかでも、選挙活動等の協力は、国会議員や地方議員等との信頼関係の構築につながり、医療政策実現への重要な要素となっている。昨年末の診療報酬改定において、財務省の大幅マイナス改定方針を阻止できたのは、日医連および都道府県医師連盟・郡市区医師連盟の地道な活動の積み重ねがあったこと改めて感じている。

が行われた。控除対象外消費税問題については、消費税一〇パーセント時の抜本的解決に向けて、課税のあり方そのものを検討するべきと語った。また、患者紹介ビジネスを巡る問題として、サコージュ(サ

ービス付き高齢者向け住宅)や有料老人ホーム等で、医療機関に患者を紹介する代わりに診療報酬の二割程度を支払う紹介ビジネスが都市部中心で広がってきていると述べ、金銭の授受による患者転院は禁止するべきと訴えた。このほか、「医師法二

十条の誤解」と「終末期医療を巡る問題」が話され、参加者にとっては非常に有意義な講演となった。研究会終了後、会場を移して出席者全員が参加しての懇親会が開かれ、和気藹々とした時間を過ごした。

三月九日

関東甲信越ブロック

(当番県 栃木県医師連盟)



「日医連医政活動研究会」(関東甲信越ブロック)

三月九日、東京都内のホテルにおいて開催された。関東甲信越八県から研究会メンバーと各県医師連盟役員・若手医師連盟会員等多数に参加した。

栃木県の福田晴美第二回日医連医政活動研究会副幹事の司会のもと、今村聡日医連副委員長、太田照男栃木県医師連盟委員長が次のように挨拶を行った。

関東甲信越ブロックの第二回「日医連医政活動研究会」が、今村日医連副委員長は、「昨年の参議院選挙において、羽生



講演する梅村聡日医総研客員研究員

田俊先生が約二十五万の得票で高位当選できたことに感謝申し上げる。しかしながら、日医連としては、常に三十万票が獲得できる組織でなければならぬと感じている。国民あるいは団体組織の政治離れは顕著であ

太田栃木県医師連盟委員長は、「日本の素晴らしい国民皆保険制度を守っていくことは我々の責務である。医療政策を政治の世界で実現するため、医政活動がとて重要であると改めて感じる。本研究会では医政活動の重要性を再確認していただきたい。そのうち、参加者の皆さまからたくさんのご意見を出していただきたい(要旨)」と述べた。

続いて、長島徹第二回日医連医政活動研究会主幹事が座長となり、梅村聡日医総研客員研究員(前参議院議員)が「医療を巡る国政での課題、医療界と政界の思考の相違」と題する講演が行われた。講演では、社会保障問題に関連して、国会で質問した時の映像をもとに、説明

三月二十三日

中部ブロック

(当番県 岐阜県医師連盟)



「日医連医政活動研究会」(中部ブロック)

岐阜県医師連盟小林博委員長の代理)より、「地域医療再興に向けて、この研究会をますます発展させていくことが不可欠であり、国会議員への陳情活動をもっと活発にさせていかなければならない」旨の挨拶があった。

引き続き、講演の部に移り、今村聡日医連副委員長が「医療に関する税制と医政活動」と題して講演を行い、また渡辺猛之参議院議員(岐阜県選挙区・自民党)と西田昌司参議院議員(京都府選挙区・自民党)から「最近の政治情勢」の報告があった。今村副委員長は講演のなかで、「まず

三月二十三日、岐阜市内のホテルで、平成二十五年・第二回「日医連医政活動研究会(中部ブロック)」が開催され、会場には百名を超える中部ブロックの会員が参集した。研究会は、ブロック当番県の岐阜県医師連盟藤城敏高幹事長の司会で始まり、まず福井県医師連盟の大中正光委員長(当日公務のため欠席であった



講演する西田昌司自民党参議院議員

控除が可能となるゼロ税率・軽減税率などの税制による抜本解決」を強く要望していく」と決意表明がなされた。

併せて、小森貴日医連常任執行委員からも「医政活動の現状と課題」につき報告があった。講演会終了後、引き続き懇親会が開催され、伊在井みどり岐阜県医師連盟副幹事長の司会で進められ、来賓として出席した羽生田俊参議院議員の挨拶ののち、参加者全員和気藹々のうちに終了した。

第八回

「医療政策研究会」開催



医療政策研究会で挨拶する横倉義武委員長（4月8日）

日は日本医師連盟（医師会）から医療に関する規制緩和の影響や懸念についてご説明をいただき（要旨）

続いて横倉義武日医連委員長が次のように挨拶した。

「医療に関する規制の多くは国民の生命を守る規制である。私どもとしては変えていただきたい規制と、守るべき規制とがあると思っ

ているという感じを受ける。また、医療法人のあり方そのものについても、大きな転換を求めるような話も出てきている。医療に関する規制緩和の問題点について、先生方には是非ともご理解をいただきたい（要旨）」

引き続き、今村聡副委員長から「規制改革会議における保険外併用療養の拡大について」、今村定臣常任執行委員から「いわゆる『非営利ホールディングカンパニー型法人制度』構想」について規制改革会議における議論内容と問題点の指摘があった。

医療に関わる 規制改革の問題点を議論

四月八日、日本医師連盟と自民党の中堅・若手議員との医療政策に関する勉強会、第八回「医療政策研究会」（会長＝武見敬三参議院議員）が開催された。当日は代理を含む四十九名の国会議員が出席し、日医連からも役員十二名が出席した。冒頭、武見会長から次のような挨拶があった。

「医療に関連する規制緩和について議論が始まっている。国民の命を守る医療については、第一に安全性が基本である。本